

平成20年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 { 目標年	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等
							総事業費	進捗率	事業進捗内容				
							うち工事費	進捗率					
							うち用地費	進捗率					
河川事業	10	一級河川木津川 広域基幹河川改修事業	伊賀市		<p>【全体事業概要】 全体事業費 28,740百万円 計画延長 L=19,860m ・築堤工 L=33,465m ・掘削工 V=3,760,000m³ ・護岸工 L=54,600m ・橋梁 N=32橋 ・樋門・樋管 N=2基 ・堰 N=15基 ・用地補償 1式</p> <p>【事業実施内容】 ・築堤工 L=18,340m ・掘削工 V=1,620,500m³ ・護岸工 L=13,398m ・橋梁 N=20橋 ・樋門・樋管 N=1基 ・堰 N=8基 ・用地補償 1式</p> <p>【以降事業内容】 ・築堤工 L=15,125m ・掘削工 V=2,139,500m³ ・護岸工 L=41,202m ・橋梁 N=12橋 ・樋門・樋管 N=1基 ・堰 N=7基 ・用地補償 1式</p>	S30	28,740	45.0%	<p>(周辺環境の変化) ・河川周辺の状況は、河川沿いを南北に走る国道や伊賀鉄道の駅周辺等を中心に集落が形成され、平地部に広がる耕作地では、主に稲作が営まれています。 ・平成16年11月に1市3町2村が合併し伊賀市となりました。</p>	<p>B/C=8.38 河床掘削等による発生土を近隣の他事業に流用する等検討、また、護岸の材料、工法の新技術の活用等により、コスト縮減ができるよう検討します。 その他、堰の統廃合についても、より効率的な河川改修となるよう検討します。 代替案は現実的側面からありません。</p>	<p>厳しい財政状況であるものの、随時、改修をすすめ治水安全度の向上を図ります。</p>	<p>事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。 (総括意見) 一、内水排除に関連する事業や海岸事業など、他の主体による事業との連携を密にし、事業推進を図りたい。 一、河川事業において、より一層周辺環境との調和に配慮した事業を推進されたい。</p>	
						{	20,522	38.0%					
						H40	8,218	61.0%					

平成20年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 }	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等
							総事業費	進捗率	事業進捗内容				
							うち工事費	進捗率					
							うち用地費	進捗率					
河川事業	11	二級河川安濃川広域基幹河川改修事業	津市		<p>[全体事業概要] 全体事業費 11,356百万円 計画延長 L=11,100m(安濃川) L=6,300m(岩田川) L=1,100m(三泗川) ・河道掘削 V=1,046,400m³ ・築堤 L=21,620m ・護岸 L=3,364m ・橋梁 6橋 ・用地補償費 1式</p> <p>[事業目的] 安濃川沿川の浸水被害防止を目的とした、河床掘削、護岸整備等の施工による河川改修を行い、流下能力を確保し治水安全度の向上を図ります。</p>	H15	11,356	4%	<p>[実施事業内容] ・護岸 L = 135m ・橋梁 2橋 ・用地補償 1式</p> <p>[以降事業内容] ・河道掘削 V = 1,046,400m³ ・築堤 L = 21,620m ・護岸 L = 3,229m ・橋梁 4橋 ・用地補償 1式</p>	<p>(周辺環境の変化) ・下流部は県都津市の中心市街地が形成されており、中・上流部は水田地帯となっています。 ・近年では平成16年に大きな被害が発生しています。 ・平成18年1月に2市6町2村が合併し津市が誕生しました。</p>	<p>B/C = 37.13 河床掘削等による発生土を近隣の他事業に流用する等検討、また、護岸の材料、工法の新技術の活用等により、コスト縮減ができるよう検討します。 代替案は現実的側面からありません。</p>	<p>厳しい財政状況であるものの、随時、改修をすすめ治水安全度の向上を図ります。</p>	<p>事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。 (総括意見) 一、内水排除に関連する事業や海岸事業など、他の主体による事業との連携を密にし、事業推進を図りたい。 一、河川事業において、より一層周辺環境との調和に配慮した事業を推進されたい。</p>
						H44	5,949	1%					

平成20年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等	
							目標年	総事業費	進捗率					事業進捗内容
								うち工事費	進捗率					
								うち用地費	進捗率					
河川事業	12	一級河川五十鈴川 広域基幹河川改修事業	伊勢市		<p>[全体事業概要] 全体事業費 17,386百万円 計画延長 L = 13,210m ・築堤工 L = 21,400m ・掘削工 V = 412,000m³ ・護岸工 L = 28,010m ・橋梁工 17橋 ・樋門樋管 32基 ・堰 9基 ・用地補償費 1式</p> <p>[事業目的] 五十鈴川沿川の浸水被害防止を目的に掘削工及び築堤護岸工等の改修により流下能力を確保し、治水安全度の向上を図ります。</p>	S24	17,386	42.2%	<p>[実施事業内容] ・築堤工 L = 17,480m ・掘削工 V = 200,000m³ ・護岸工 L = 24,130m ・橋梁工 15橋 ・樋門樋管 25基 ・堰 7基 ・用地補償 1式</p> <p>[以降事業内容] ・築堤工 L = 3,920m ・掘削工 V = 212,000m³ ・護岸工 L = 3,880m ・橋梁工 2橋 ・樋門樋管 7基 ・堰 2基 ・用地補償 1式</p>	<p>(周辺環境の変化) ・流域には、この地方の根幹をなす交通網の拠点があり、この地域の社会・経済・文化の基盤をなしています。 ・上流には伊勢神宮があり、豊かな自然環境が残り、神宮を中心として観光客が多数訪れ、第62回式年遷宮に向けての増加も期待されています。 ・平成17年11月に1市2町1村の合併により伊勢市となりました。</p>	<p>B/C = 3.35 現況施設(堤防・護岸)を有効活用することにより、コスト縮減に努めます。 代替案は現実的側面からありません</p>	<p>厳しい財政状況であるものの、随時、改修をすすめ治水安全度の向上を図ります。</p>	<p>事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。 (総括意見) 一、内水排除に関連する事業や海岸事業など、他の主体による事業との連携を密にし、事業推進を図りたい。 一、河川事業において、より一層周辺環境との調和に配慮した事業を推進されたい。</p>	
							14,155	42.9%						
						H46	3,231	39.0%						

平成20年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等	
							目標年	総事業費	進捗率					事業進捗内容
								うち工事費	進捗率					
								うち用地費	進捗率					
河川事業	13	二級河川志登茂川 広域基幹河川改修事業	津市		<p>【全体事業概要】 全体事業費 28,150百万円 計画延長 L=6,407m (志登茂川) L=1,463m (横川)</p> <p>・築堤工 L=11,960m ・掘削工 V=692,560m³ ・護岸工 L=11,160m ・樋門・樋管 3基 ・橋梁 20橋 ・用地補償費 1式</p>	S47	28,150	46.6%	<p>【実施事業内容】 ・築堤工 L=8,410m ・掘削工 V=88,557m³ ・護岸工 L=9,963m ・樋門・樋管 2基 ・橋梁 13橋</p> <p>【以降事業内容】 ・築堤工 L=3,550m ・掘削工 V=604,003m³ ・護岸工 L=1,197m ・樋門・樋管 1基 ・橋梁 7橋</p>	(周辺環境の変化) 中下流部は津市の市街地であり、近鉄江戸橋駅を中心に市街地が形成されています。また、津市中心部に位置することから流域内の土地利用の高度化が見込まれています。 近年では平成16年に大きな被害が発生しています。 平成18年1月に津市、久居市、安芸郡河芸町、同郡安濃町、同郡美里村、一志郡香良洲町、同郡白山町、同郡美杉村の2市6町2村が合併し津市が誕生しました。	B/C = 26.00 氾濫解析手法の変更 河床掘削等による発生土を近隣の他事業に流用する等してコスト縮減に努めます。また、護岸の材料、工法の新技術の活用等により、コスト縮減ができるよう検討します。 『ダム案』はダムサイトとしての適地は上流域の山地となりますが、流域の大部分が平地でダムの適地がありません。 『遊水地・調整池案』については新たに広大な用地を取得することや、補償することは困難です。	厳しい財政状況であるものの、随時、改修をすすめ治水安全度の向上を図ります。	事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。 ただし、13番について、想定氾濫シミュレーションを行う場合、マニュアルを踏まえ、地域の特性ならびに実状を考慮し、より精緻な検討を行われたい。 (総括意見) 一、内水排除に関連する事業や海岸事業など、他の主体による事業との連携を密にし、事業推進を図られたい。 一、河川事業において、より一層周辺環境との調和に配慮した事業を推進されたい。	
							16,541	32.9%						
						H45	11,609	66.1%						

平成20年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 }	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等
							総事業費	進捗率	事業進捗内容				
							うち工事費	進捗率					
							うち用地費	進捗率					
河川事業	16	二級河川堀切川	鈴鹿市	高潮対策事業	<p>[全体事業概要] 全体事業費 9,450百万円 計画延長 L=1,500m(堀切川) L=700m(釜屋川) ・築堤工 L=520m ・掘削工 V=7,400m³ ・護岸工 L=4,060m ・橋梁 7橋 ・水門・排水機場2基 ・用地補償1式</p> <p>[事業目的] 水門の建設、堤防高上げを行うとともに排水機場を建設することにより、高潮による堤内地への溢水被害を防ぐことを目的としています。</p>	S63	9,450	70.7%	<p>[実施事業内容] ・護岸工 L = 435m ・水門・排水機場 2基</p> <p>[以降事業内容] ・築堤工 L = 520m ・掘削工 V = 7,400m³ ・護岸工 L = 3,625m ・橋梁 7橋 ・用地補償 1式</p>	堀切川及び釜屋川の両岸には市街地が広がっており、浸水区域内の資産は増加傾向にあります。	B/C = 20.06 護岸の材料・工法等における新技術の積極的な採用、建設発生土の工事間流用の促進等によりコスト縮減に努めていきます。 代替案は現実的側面からありません。	厳しい財政状況であるものの、随時、改修をすすめ治水安全度の向上を図ります。	事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。 ただし、16番について、地域住民の意見を反映する仕組みを構築し、周辺環境に配慮した事業を推進されたい。 (総括意見) 一、内水排除に関連する事業や海岸事業など、他の主体による事業との連携を密にし、事業推進を図られたい。 一、河川事業において、より一層周辺環境との調和に配慮した事業を推進されたい。
						H30	810	26.1%					